



## 2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社テー・オー・ダブリュー

上場取引所 東

コード番号 4767 URL https://tow.co.jp/

代表者(役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO) (氏名) 秋本 道弘

問合せ先責任者(役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 梶岡 二郎 (TEL) 03-5777-1888

四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年6月期第3四半期の連結業績(2020年7月1日~2021年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	9,165	△30.5	233	△88.1	275	△86.0	174	△86.9
2020年6月期第3四半期	13,191	6.9	1,958	19.6	1,973	18.9	1,335	20.2

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 404百万円(△69.8%) 2020年6月期第3四半期 1,337百万円(70.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	3.89	3.87
2020年6月期第3四半期	29.71	29.40

(注) 2020年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。

1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、2020年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期第3四半期	12,541	10,024	79.5	221.70
2020年6月期	16,194	10,256	63.1	227.24

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 9,971百万円 2020年6月期 10,211百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	16.50	—	8.50	25.00
2021年6月期	—	6.10	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	—	—	6.80	12.90

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。

2020年6月期第2四半期末の配当金は、当該株式分割前の金額であります。

## 3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,726	△39.3	384	△83.4	426	△81.7	269	△83.0	5.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(2021年5月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年6月期3Q	48,969,096株	2020年6月期	48,969,096株
② 期末自己株式数	2021年6月期3Q	3,991,552株	2020年6月期	4,032,252株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年6月期3Q	44,958,531株	2020年6月期3Q	44,936,844株

(注) 2020年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。  
期中平均株式数は、2020年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績の予想につきましては、現時点で入手可能な情報を基に作成しており、実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	8
(1) 販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、企業収益の悪化や個人消費の低迷など深刻なダメージを受けており、依然として先行きは不透明な状況にあります。当社グループを取り巻く市場環境についても、1月に再発令された緊急事態宣言が一都三県において3月まで延長されたことによりイベントの延期や規模の縮小等、大きな影響を受けております。

このような事業環境の中、当社グループといたしましては、今後の中期的な成長に向けた基盤づくりが重要と考え、以下の「事業成長ビジョン」を策定し積極的な事業展開を継続してまいりました。

#### (事業成長ビジョン)

当社グループは「体験価値※」をコアとしたプランニングとプロデュースを駆使して、「魅力的なコンテンツを創る力」と「プラットフォームを活性化する力」を発揮することで、新規顧客の獲得、既存顧客の育成・活性化に貢献する『TOW体験デザインモデル』を確立いたします。これを通じ、当社グループの提供価値の拡張とビジネスの成長を実現し、新たな企業像として『体験価値をコアに、成果をデザインするプロダクション』を目指します。

※体験価値：情緒的価値・感性的価値・機能的価値を含めて顧客心理に訴えかける価値

当第3四半期連結累計期間を四半期別で見ますと、第1四半期の売上高は、新型コロナウイルス感染症の拡大によりリアルイベントが低迷しましたが、官公庁・団体の大型案件が寄与し、前年同期から大幅に増加しました。第2四半期の売上高・売上総利益は、各種オンラインプロモーション施策の引き合いが増加したもののリアルイベントが低迷したため前年同期を大幅に下回りました。なお、第1四半期との比較では、第2四半期は新型コロナウイルスの影響もある程度落ち着いたため、官公庁・団体の大型案件を除いた案件は売上高・売上総利益とも増加しました。第3四半期の売上高・売上総利益は、各種オンラインプロモーション施策が増加しましたが、緊急事態宣言延長に伴うリアルイベントの延期や規模の縮小等の影響は大きく、前年同期から大幅に減少しました。

当第3四半期連結累計期間では、売上高・売上総利益とも前年同期を大幅に下回りました。

販売費及び一般管理費については、業績に応じて適切にコントロールしたため、前年同期から減少しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は91億65百万円（前年同期比30.5%減）、営業利益は2億33百万円（同88.1%減）、経常利益は2億75百万円（同86.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億74百万円（同86.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ36億52百万円減少し、125億41百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ39億59百万円減少の104億80百万円となりました。これは主に、現金及び預金が26億61百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が31億76百万円、未収入金が21億60百万円、電子記録債権が13億35百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3億6百万円増加の20億61百万円となりました。

固定資産のうち有形固定資産は、前連結会計年度末に比べ45百万円増加の2億34百万円となりました。これは主に、レイアウト変更等によるものであります。

無形固定資産は、前連結会計年度末に比べ6百万円増加の30百万円となりました。これは主に、受注管理システムの改修等によるものであります。

投資その他の資産は、前連結会計年度末に比べ2億55百万円増加の17億96百万円となりました。これは主に、繰延税金資産が78百万円減少しましたが、投資有価証券が3億35百万円増加したこと等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ35億41百万円減少の19億47百万円となりました。これは主に、買掛金が24億77百万円、その他が6億82百万円、未払法人税等が3億76百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億20百万円増加の5億69百万円となりました。これは主に、繰延税金負債が1億31百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億32百万円減少の100億24百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が2億29百万円増加しましたが、利益剰余金が4億81百万円減少したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(今後の見通し)

通期の連結業績予想につきましては、5月初旬に緊急事態宣言が延長されたことによるイベントの延期や規模の縮小等が発生した一方、2021年2月8日公表の業績予想に含めていなかった東京2020オリンピック・パラリンピックの進行中の案件を含めたこと、制作業務の内製化を強化したこと、各種オンラインプロモーション施策が堅調に推移したこと、販売費及び一般管理費を適切にコントロールしたことにより、通期の売上高を117億26百万円（前年同期比39.3%減）と従来予想から81百万円、営業利益は3億84百万円（同83.4%減）と従来予想から1億59百万円、経常利益は4億26百万円（同81.7%減）と従来予想から1億63百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2億69百万円（同83.0%減）と従来予想から1億10百万円それぞれ上方修正いたします。

なお、今後、さらに緊急事態宣言が延長された場合や、東京2020オリンピック・パラリンピックが中止・延期となった場合は、実際の業績が変動する可能性があります。

(配当金予想について)

配当金につきましては、期末配当金を6円80銭、年間配当金を12円90銭と予定しており、2021年2月8日の公表から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,055,985	7,717,311
電子記録債権	1,630,882	295,748
受取手形及び売掛金	4,390,003	1,213,344
未成業務支出金	186,538	267,619
未収入金	3,066,305	905,723
前払費用	51,392	53,026
その他	58,583	27,474
流動資産合計	14,439,692	10,480,248
固定資産		
有形固定資産		
建物	144,077	186,326
減価償却累計額	△55,246	△60,859
建物(純額)	88,830	125,467
工具、器具及び備品	280,413	262,637
減価償却累計額	△189,875	△162,480
工具、器具及び備品(純額)	90,538	100,156
リース資産	5,310	5,310
減価償却累計額	△2,035	△2,832
リース資産(純額)	3,274	2,478
土地	6,027	6,027
有形固定資産合計	188,671	234,129
無形固定資産	24,349	30,426
投資その他の資産		
投資有価証券	1,020,008	1,355,658
保険積立金	226,893	226,893
繰延税金資産	80,247	1,654
敷金及び保証金	203,236	201,248
その他	11,190	11,190
投資その他の資産合計	1,541,574	1,796,644
固定資産合計	1,754,595	2,061,201
資産合計	16,194,287	12,541,449

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
電子記録債務	464	10,096
買掛金	3,151,839	673,957
短期借入金	840,000	840,000
未払法人税等	379,790	3,398
賞与引当金	104,388	84,358
役員賞与引当金	—	5,883
その他	1,012,395	329,897
流動負債合計	5,488,878	1,947,591
固定負債		
退職給付に係る負債	223,084	234,633
役員退職慰労引当金	209,767	185,902
繰延税金負債	—	131,582
その他	16,064	17,397
固定負債合計	448,917	569,516
負債合計	5,937,795	2,517,108
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,994	948,994
資本剰余金	1,089,236	1,097,946
利益剰余金	8,125,374	7,643,836
自己株式	△381,063	△377,237
株主資本合計	9,782,542	9,313,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	475,351	704,568
土地再評価差額金	△46,614	△46,614
その他の包括利益累計額合計	428,736	657,953
新株予約権	45,212	52,846
純資産合計	10,256,492	10,024,340
負債純資産合計	16,194,287	12,541,449

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2021年3月31日)
売上高	13,191,443	9,165,230
売上原価	10,596,755	8,301,563
売上総利益	2,594,687	863,667
販売費及び一般管理費	636,459	630,238
営業利益	1,958,228	233,428
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	15,852	22,499
助成金収入	—	19,069
雑収入	1,755	2,770
営業外収益合計	17,607	44,340
営業外費用		
支払利息	1,794	2,280
売上債権売却損	—	80
雑損失	199	25
営業外費用合計	1,993	2,386
経常利益	1,973,842	275,382
特別利益		
投資有価証券売却益	15,000	—
役員退職慰労引当金戻入額	—	12,150
特別利益合計	15,000	12,150
特別損失		
固定資産除却損	—	332
特別損失合計	—	332
税金等調整前四半期純利益	1,988,842	287,200
法人税、住民税及び事業税	597,000	3,398
法人税等調整額	56,781	109,013
法人税等合計	653,781	112,411
四半期純利益	1,335,061	174,788
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,335,061	174,788

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	1,335,061	174,788
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,282	229,216
その他の包括利益合計	2,282	229,216
四半期包括利益	1,337,343	404,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,337,343	404,005
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは同一セグメントに属するイベントの「企画」・「制作」・「運営」・「演出」及びそれに付帯する業務を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、記載を省略しております。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

従来カテゴリ別売上高を開示しておりましたが、各カテゴリをまたがる統合的な案件が増えてきているため、第2四半期連結累計期間よりカテゴリ別の開示はしていません。